

関東大震災における日本赤十字社の主な救護活動

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

臨時救護所

東京 51カ所 9/1-1/10
神奈川 36カ所 9/1-3/31
その他の地域 73カ所 9/1-11/1



救護した人数 約17.5万人

救護した人数 約19万人

東京・神奈川以外の被災地および全国各地の交通の要所に臨時救護所を設置し、避難する被災傷病者約3万3千人の救護を行う

巡回診療

東京 4班

9/16-11/8



救護施設から遠い患者に対し救護を徹底。入院を要するものは本社病院、臨時病院などに送った

臨時赤十字病院

東京 4カ所 10/15-3/31
神奈川 2カ所 10/1-3/31



臨時伝染病院

東京 2カ所
その他増床対応2カ所 (本社病院、神奈川臨時病院)

10/18-2/7



妊産婦と乳児保護

臨時産院 (大久保・本郷)、臨時乳児院 (本郷)、臨時児童保護施設 4カ所
その他増床対応1カ所 (本社産院、9/1～)

9/20-4/20



その他 ○逼迫する医療ニーズに対応するため東京の日本赤十字社病院・産院の増築等を行う
○東京市その他と協定し、14カ所の外来診療所を設ける など